

## 令和6年度

総合型地域スポーツクラブアドバイザー  
活動報告（7月～9月）

近年の地域課題として、少子高齢化や多様化が進み、課題解決をどこが主導で進めていくのかが重要です。また、中学校部活動の地域移行やスポーツ離れ・二極化などによる、スポーツ少年団員の減少や団体競技の人数不足など、子どもたちのスポーツ環境にも大きな影響が出ているようです。また、地域コミュニティの低下が生み出す利己主義的な考えや、保護者の付き合い、当番、送迎問題などの理由で子ども達がスポーツをやりたくてもできないケースが多くなっている為、子どもの成長を地域でサポートできる環境が必要です。

## 7月

## 総合型地域スポーツクラブ市町連携支援研修会

令和6年度の市町連携支援研修会が福井県生活学習館学習室で開催されました。新潟県のNPO法人希楽々のゼネラルマネージャー渡邊氏による講演とマンダラチャートを使ったワークショップを実施し、各市町行政やクラブにとっても大いに刺激になりました。

多くのヒントをどのように実施していくのかが最も重要な部分で、クラブ側から積極的に情報を発信し、信頼と実績を積み上げていけるよう、助言していきます。



8月

## 第1回地域スポーツ推進体制基盤強化事業

令和6年度第1回地域スポーツミーティングに参加しました。今年度は、スポーツの可能性と必要性を各市町行政担当者に理解してもらう目的で開催し、講演や意見交換会を通して学びの機会となりました。

参加したクラブ・行政関係者に助言や情報提供することもできたので、このような機会が増えていくと良いと思います。

地域での基盤づくりの必要性を理解し、県のスポーツ推進計画の進捗状況や参加者による意見交換を踏まえ、各所属が今後どのような政策や事業提案をしていくのかが楽しみです。



9月

## 障がい者スポーツ出前講座

県内の小学校で障がい者スポーツ出前講座が開催されています。小学4年生のユニバーサル社会学習の一環で、障がい者スポーツの体験を行う授業です。今後、県の事業として実施されている本事業に総合型クラブが参入できないかを、現場視察をしながら関係者にアプローチしている段階です。県の担当者には一過性のイベントにならないことと、継続性が必要だと助言しています。

継続的な活動としていくためには、イベントを運営する母体が必ず必要です。子どもから高齢者・障がい者まで幅広く参加可能な総合型クラブと連携できれば、会員確保などクラブ側にもメリットが出てきます。

